

# システム設計における 制御開発の考え方研修 のご紹介

## 上流で品質を作り込むために必要な制御開発の考え方・ 手法を学び、開発の効率化と製品品質の向上を実現

「製品の機能が高度化、複雑化していく一方で、開発期間はさらなる短縮を求められている。制御開発担当者が関係者と十分にリスク検討できる余裕もなく、市場での不具合が後を絶たない」

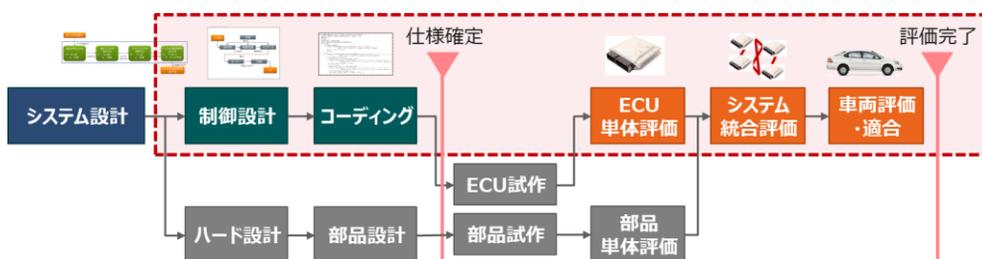
このような問題が起きていませんか？

製品機能の複雑化に伴い制御ロジックも複雑になり、制御起因の不具合件数は増加傾向にあります。

設計時に予測しなかった問題が検証時に見つかることも多く、手戻りのコスト、期間遅延への影響、市場への不具合流出のリスクなど、多くの問題を抱えています。



本研修では、実績のある制御開発のメソドロジーを、自動車開発を例に体系的に学んでいただきます。ものがない開発上流段階でモデルを上手く活用して関係者と妥当性を確認しながら、段階的に・着実に品質を作り込んでいく姿を目指します。



**本研修の  
対象領域**

### 概要

#### 【本研修の狙い】

自動車開発を例に、制御開発の基礎と、システム全体を俯瞰した制御開発業務の考え方・手法を習得していただく。

#### 【習得できること】

- 制御開発の基礎知識、基本的な考え方
- 自動車の開発プロセス全体概要、制御開発プロセス
- 制御開発の詳細な進め方

(システム要求の把握～アーキテクチャ設計～コーディング～評価)

**構成**
**動画講座**

**ワークショップ**

約90分

半日×2回

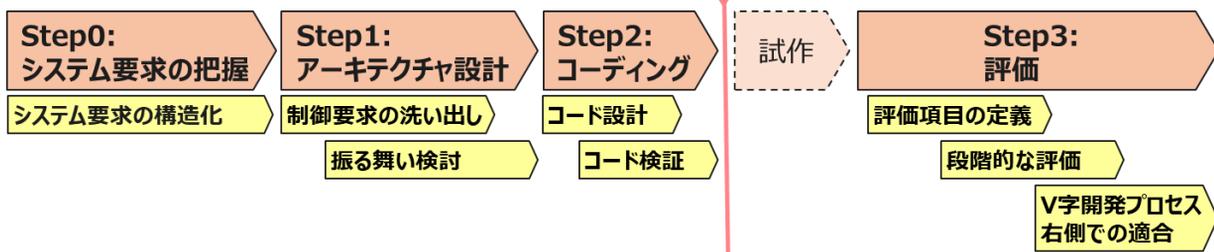
**【アジェンダ】**

1. 制御開発の基本説明
2. 自動車の制御開発プロセス
3. 制御開発プロセスの詳細な進め方
  - Step0：システム要求の把握
  - Step1：アーキテクチャ設計
  - Step2：コーディング
  - Step3：評価


 詳細説明  
 +  
 グループ演習  
 +  
 質疑応答

仕様確定

評価完了


**特徴**

国内各メーカーでの現場導入を通じて洗練された制御開発手法の勘所を凝縮

- システム要求の把握～アーキテクチャ設計～コーディング～評価の順に、段階的に完成度を上げていく 考え方・手法を学べます。
- 講師の現場経験・コンサルティング経験や事例も交えつつ、実際に使える 考え方・手法を学べます。
- 制御開発における課題が山積し、対策検討も進んでいる自動車開発を例に、制御開発の勘所を学べます。
- 制御の基本から説明いたしますので、今まで異分野の開発業務を担っていた方、新任の方でも取り組んでいただけます。
- ワークセッションでは、異なる業種・会社の方々と合同でグループ演習に取り組んでいただき、すり合わせ開発のエッセンスを体感しながら、実践に向けて押さえるべきポイントを学んでいただけます。

お問い合わせは 貴社営業担当

 または株式会社 電通総研 人材育成・研修担当 ([g-ex-mhrd@group.dentsusoken.com](mailto:g-ex-mhrd@group.dentsusoken.com)) まで